

特定外来生物ハイイロゴケグモの確認について

令和5年9月25日に鹿嶋市内で発見されたクモを専門家(※)へ同定を依頼したところ、10月10日、外来生物法で特定外来生物に指定された「ハイイロゴケグモ」と本県で初めて同定されました。(全国17都府県目)

つきましては、県民の方々に周知し、注意喚起を行うため、下記のとおりお知らせします。

※同定の依頼先: 国立科学博物館筑波研究施設

記

1 発見内容及び場所

- (1) 発見内容 ハイイロゴケグモ(メス 1匹)
- (2) 発見場所 茨城県鹿嶋市泉川地内の事業所
- (3) 侵入経路 国外又は国内経路の可能性
- (4) 発見されたハイイロゴケグモの画像



背面



腹面

2 ハイイロゴケグモの特徴

- ・メスの体長は約12~16ミリ、オス6~8ミリ。白から黒まで体色には変異がある。
- ・腹部の背面に縁取りのある赤褐色の斑紋、腹面に赤色の斑紋があることが大きな特徴
- ・毒を持つのはメスのみ。

3 ハイイロゴケグモを発見した場合の対応

- ・ハイイロゴケグモを見つけても、素手でさわらないように気をつけてください。
- ・駆除するには家庭用殺虫剤を用いるほか、熱湯をかける、靴で踏みつぶす等の方法で駆除してください。

○ハイイロゴケグモと疑わしいクモを発見した場合は

- ・茨城県生物多様性センター (029-301-2940)
- ・発見場所の市町村環境担当課 まで連絡をお願いします。

【参考】

ハイイロゴケグモについて

○特徴

- ・メスの体長は約12～16ミリ、オス6～8ミリ。白から黒まで体色には変異がある。
- ・腹部の背面に縁取りのある赤褐色の斑紋、腹面に赤色の斑紋があることが大きな特徴
- ・毒を持つのはメスのみ。
- ・主に昆虫を食し、攻撃性は比較的弱いとされるが、触ると咬まれることがある。

○生息場所

側溝・溜め枡、壁のわれめ等の隙間、自販機の下等を好む。

○ハイイロゴケグモが確認された都道府県

16 都府県（令和5年9月現在）

東京都、神奈川県、山梨県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、山口県、福岡県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、長崎県、愛媛県、熊本県

○咬まれたときの症状

- ・局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、区域リンパ節の腫張
- ・通常は数時間から数日で症状は軽減するが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがある。
- ・重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じる。
- ・ハイイロゴケグモの毒での死亡例は報告されていない。

※ 傷口を流水や石けん水で洗い、医療機関を受診してください。

○駆除方法

家庭用殺虫剤を用いるほか、熱湯をかける、靴で踏みつぶす等の方法がある。

○備考

ハイイロゴケグモは、既に国内の複数の都道府県で確認されていることから、国内を移動してきたか、海外から直接侵入してきたか、複数の侵入経路の可能性がある。

○特定外来生物

ハイイロゴケグモの特定外来生物への指定は、平成27年10月。

「特定外来生物」とは

- 外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から環境省が指定。
- 輸入、放出、飼養等、譲渡し等は禁止。
- 生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれる。